

球磨村 おがわ瓦版

令和3年11月10日
編集発行 宮原 修
090-9585-8894

昨年の豪雨から一年五ヶ月が経ち、ようやく渡小学校運動場が整備され、こどもや住民が集いの場として利用できるようになった。

地域に笑顔と元気が!

渡小運動場が集いの場に

早速、球磨村グラウンドゴルフ協会が10月18日から利用を始め、週3回(月水土)村内の愛好者が楽しんでる。



プレーを楽しむ愛好者

愛好者の氏川平さん(77)カツヨさん(77)夫妻は「久しぶりにみんなに会え、近くで出来るようになってとてもうれしい」と笑顔で話していた。

また校庭内の花壇は、渡小学校の依頼で小川班で花植えや花壇の管理をすることになり、花壇にはかぼちやがスクスクと育っている。11月6日には、小川班住民と熊本地震で被災した益城町の赤井地区住民が花苗植えて交流を深めた。



花壇に花苗を植える
小川地区と赤井地区の住民



渡小学校を背景に咲く
コスモス

松谷棚田オーナー

稲刈り・掛け干し体験

10月10日、さんがうら運営委員会(大無田満浩会長)は日本棚田百選の「松谷棚田」で稲刈り・掛け干し体験が行われた。

大無田会長は「コロナ禍の中で、球磨村も復興の途中ですが、稲刈りを通して交流を深めていただくことで、村民も元気が出てきます。稲刈りを楽しんでください」とあいさつ。

今回の体験は、大小9枚の棚田に村内外から棚田オーナーや地域住民約70人が参加。楽しく稲刈りをし、作業後は昼食を交えながら交流を深めていた。

京都から参加した40代の女性は「とても楽しかった。球磨村は景色も美しいし、移住したいな」と地域住民との交流を楽しんでいた。

田舎の体験交流館『さんがうら』の小川聡施設長は「絶好の体験日和で、参加された皆さんも大変楽しく作業されていたようで本当に良かったです。またコロナ禍の中、やっと踏み出した第一歩。これからの交流イベント再開を見据えて、また少しずつ歩んでいきたいです」と語っていた。



親子で稲刈りを楽しむ

球磨村女子団体初優勝 舟戸さん女子個人3位入賞

*球磨郡民体育祭「グランドゴルフ」

あさぎり町岡原「森園カントリーパーク」にて球磨郡9町村139名が参加し10月26日に行われた。球磨村は女子団体が初優勝を飾り、女子個人で舟戸康子さんが3位に入賞。男子は団体が5位だった。



球磨弁! 39

わかるかな?

せくし閉める

さらえるし平らげる

じだし地面

おちよし面めん子つ

ぐどつくし文句を言う

しかぶるしお漏もらし

うんぶくれるし漏おほれる

くし棘とげ



発見！魅力あふれる吐合・中津地区

球磨村一勝地の吐合・中津地区の魅力を地元の吐合征勝さん(78)に案内していただきました。

芋川沿いの吐合公民館側に清水の湧水場があり、吐合地区とかわせみ・せせらぎへ送水している。また吐合橋の下流中央にはおにぎり石やカバ石など他にもユ一モラスな名前が付けられた石が点在している。

吐合地区は、防災面でも先進的で意識も高く、吐合・中屋地区自主防災組織の会長でもある吐合さんは、目安としてこのおにぎり石より2メートル水位が上がった場合には自発的に避難するように決めている。

また清水の湧水場の芋川対岸の山中を20分ほど登ったところに縦80センチ、幅20センチほどの縦長に割れた岩に風穴(ふうけつ)がある。昔は水を入れた一升瓶をその風穴で冷やし農作業の合間に飲んでいた。また寒期には寒暖差でその風穴から蒸気が出ていたという。



清水の湧水場



避難の目安にしているおにぎり石



風穴



中津川の清流と湧水



棚田名残の石垣



おち逢い石

芋川と分流する中津川(中津地区山柿)には、菊池水源にも劣らない清流と岸から出てくる湧水が見られる絶景がある。その右岸に棚田跡の石垣が段を成して残っている。またおち逢い石といわれる5メートル立方ほどの大きな石がある。何か文字が刻んであるが読み取れない。むかし平家の落人で茂田の太郎と柳詰の千代鶴という女性が、今でもいうデートを重ねていた場所だったといわれている。吐合さんは「特に山柿の中津川の清流と岸から出てくる湧水が見られる絶景地とおち逢い石周辺を整備してキャンプやデイトスポットにできれば、将来球磨村の観光名所のひとつになるのでは」と話している。

あー楽し！釣り談義 其の十一

前回からの続きですが、今でもあの2回のバラシは悔しくて忘れられません。あとでもう反省です…。原因は針が少し小さいかったようです。それとハリスのスレ(糸の傷)で糸とが切れてしまったことです。時々スレのチェックもしないと(師匠の教え)。夢中で忘れていました。次回は一段大きい針にして挑戦したいと思います。

後から釣りに来ていた50代の夫婦は、私が帰る頃にはチヌを5匹の釣果でした。私はハリスが切れたところで納竿。結局43センチのチヌ(自己記録二番目)を筆頭に3匹の釣果でした。

さあ、あとは帰ってから釣り道具を水洗いして魚の下処理です。たいへんですけど面白いので。家内が「三枚おろししたら？」と言うので、してみたらずくでなくて散々。処理した魚は、家内が煮つけや塩焼きにして美味しくいただきました。三枚おろしで少なくなった身を刺身にして食べたのですが、皮を剥ぐのを忘れてました。でも旨かったですよ！

やはり、釣れても釣れなくても釣りはいいですね。釣れば釣れたてまた行きたいし、釣れなければ「今度こそは」とリベンジに燃え行きたくなります。それに海は遠くに浮かぶ島や船を見ているだけでも、心身共にリフレッシュして最高です。皆さんもご家族やご夫婦で行ってみてはいかがでしょうか。

